

君  
の美術館



人々が愛した幻想郷



palette

時が流れ、いつか全て消えてゆこうと  
この想いを決して忘れぬようにと



君の美術館  
しまいブラザーズ  
Liz Triangle  
k-waves LAB  
Syrufit  
鉄腕トカゲ探知機  
PARADOX  
SYNC.ART'S

参加アーティスト

スギ  
鶴亀  
フカヒレ  
いおり  
サツキ  
Archlich  
HINA  
岩本ジェイムズ

『palette～人々が愛した幻想郷～』をご購入頂き、誠にありがとうございます。  
この作品を頒布するに当たり、沢山の方々にご協力頂き、様々な軒余曲がありましたが、  
未だ完成品は手元ありませんが、「本当にやってよかった」と心の底から思える作品です。

## 『palette』企画発案のきっかけ

まだ、僕らが同人音楽の世界に作り手側として参入する以前、  
sound sepher様の『Cradle - 東方幻想郷』という作品に出遇いました。  
その企画内容とオリティの高さに惹かれ、いつか“同人二次創作アレンジ”  
という枠組みの中で、このような作品を企画してみたいという想いが生まれました。

『専断する様々なサークル様の協力を得て、  
より『美術館』らしい多彩なアルバムを手掛けてみたい』

君の美術館が東方アレンジをする際は、“原曲重視”というスタイルで一貫しています。  
ですが、“美術館”をサークル名に持ちながら、そういったスタイルを貫く事によって、

僕ら自身が“美術館”に出版する一作品、もしくは一アーティストに過ぎない表現しか出来ていないのでは？  
という疑問や欲求も生まれ、この企画が始動する原動力となりました。

音楽サークル様をお誘いする際は、東方アレンジを通じて出逢えた素敵な方々に声を掛けさせて頂き、  
絵師様をお誘いする際には、いつも僕らの東方アレンジCDのジャケットを手掛けて頂いている、  
スズキ様のご協力を仰いで「この方に参加して頂けたらすごい作品に仕上がるだろうな～」など、  
妄想ばかりが暴る非生産的なやり取りが繰り返られていました。

こうして制作協力に応じて頂いたサークルの皆様から、ひとつ、またひとつと作品が集まる度に、  
完成への実感が湧き、参加皆様への強烈な感謝の気持ちと、説明の出来ない緊張感が高まってきました。

# palette ～人々が愛した幻想郷～

## 『palette』同じ楽曲をアレンジするコンセプトと理由

まず一曲は、お誘いしたサークル様へ「この曲のアレンジをしたらどうなるか聴いてみたい」という僕らの極めて単純な要望をぶつけてさせて頂き、もう一曲は、相手方のサークル様から  
原曲を指定させて頂きました。一曲のみの参加という形になりましたが、  
PARADOX様とは同ジャンルで、SYNGARTS様とは同ボーカル・同作詞家です。  
というユニークな内容でのアレンジの出し合いが出来たので、満足のいくものだと思っています。  
同じ楽曲をお互いにアレンジした理由は、対決という意味合いもゼロとは言えませんが、  
どこまで違うアレンジになるのか、聴き比べる面白さを割り手側にも聴き手側にも楽しんで  
頂きたいという想いからです。

東方アレンジ歴は決して長くない君の美術館ですが、ZUN様が東方を手掛けられた経緯や、  
ZUN様の作品、特に音楽面での専断の念を強く持っていましたので、“東方作品”に限らず、  
西方やオリジナルからも多く選曲した、“ZUN様へのリスペクトCD”となっていると思います。

## 『palette』特殊パッケージ

より“触せられるパッケージ”を目指し、今回最も確信かつ長期間の打ち合わせを要しました。  
試行錯誤の日々が初夏から始まり、五回ものサンプルの作り直しは、CD収納部分の設計に  
一歩頭を悩ませました。バインダーの詰め具は四角の物にする事で、よりスタイリッシュなデザインに。  
(最終的に閉じ直ってしまったので、次回があれば改善したいです…苦笑)  
外装の布地には業界初出の生地“ヴィーナス”を使用。ネーミングに惹かれたのは言うまでもありません。  
ブックレット部分に使用される紙は、絵師様の絵をより美しく保存出来るように、  
超厚手・FMSクリーン印刷・マットPP加工と、思い付く限りの耐久性を考慮した特殊仕様となりました。  
度重なる打ち合わせに付き合ってくれたプレス・製造会社様には頭が上がりません。

## 『palette』というタイトルに込められた想い

「参加サークルや参加絵師の皆様、それに様々な要素を加えた、一大お祭り企画に相応しいタイトルを」と、  
時間を掛けて悩んだ末、アーティスト一人一人を“color”に喩え、その想いを乗せる“palette”と銘打ちました。  
様々な色が交じり合い、無限の色彩を生み出すこの祭典を楽しんで頂ければと思います。

—どうかこの『palette』が、沢山の“canvas”を色彩鮮やかに染めますように—







































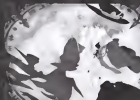


Illustrator ... 鶴亀

[ ああ言えば、こう言う ]

<http://www.a-leba.com/>

Pixiv ID : 55875



Illustrator ... いおり

[ 鈴箱 ]

<http://yakatabakoblog.shinobi.jp/>

Pixiv ID : 39699



Illustrator ... スギ

[ sugiflight ]

<http://www5.pf-x.net/~sugiflight/>

Pixiv ID : 20146



Illustrator ... フカヒレ

[ RUINON ]

<http://ruinon.blog.shinobi.jp/>

Pixiv ID : 58338







Illustrator ... Archlich

{ Malus facticius }

<http://malus.cc/>

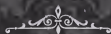
Pixiv ID : 19407



Illustrator ... 岩本ジェイムズ

{ メガネクリップコーヒー 3 杯目 }

<http://blog.kaltenrojlmo.jp/>



Illustrator ... サツキ

{ ドロ56 }

<https://yaplog.jp/doro-chira/>

Pixiv ID : 5490



Illustrator ... HINA

{ 宝鬼ノック }

<http://pixiv.cc/pico24/>

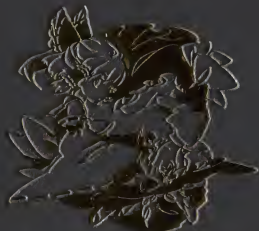
Pixiv ID : 66484





# palette

presented by kimino-museum



～人々が愛した幻梨脚～